



流星群を見よう!★

8月11日(火・祝)から13日(木)頃にかけて、毎年たくさんの流れ星を見せてくれる「**ペルセウス座流星群**」がやってきます。

今年のペルセウス座流星群は、**8月13日(木)の11時頃**に**極大**になると予想されます。ただ、宮崎はこの時間は昼間であり星が見えない時間帯です。観察は**12日(水)の深夜から13日(木)の夜明け前**が**オススメ**♪月明かりの心配もないため、たくさんの流れ星に期待しましょう!!

2026年8月13日(木) 午前3時ごろの空



自由研究にもピッタリ!

ぼくはカシオペア座の“W”のような星ならびの近くにいるよ

ペルセウス君

©StellaNavigator/AstroArts

流星群の流れ星は、放射点を中心に放射状に出現します。つまり、夜空のどこにでも流れ星は出現します。でも、周りをキョロキョロしてしまうと流れ星を見逃してしまいます。1つの場所を決めたら、根気強く1点を眺めてくださいね! さあ、夏の夜空に願い事をしに出かけてみませんか!? レッツゴー♪

宮崎市内の星空スポット



① 高岡町 瓜田ダム



② 青島(白浜)



③ 堀切峠



④ 平和台公園

マナーを守って、利用しよう!

〔流星群解説〕



<流れ星って…！？>

星空を眺めていると、ときどき星がスーッと流れることがあります。砂粒(1mmから数cm)ほどの小さな天体が地球の大気に飛び込み、プラズマ化したガスが明るく光る現象です。これを一般に「流星(流れ星)」と呼んでいます。流れ星が光っているのは地上から約100km~200kmくらいで、消えてなくなるのは70km~90kmくらいです。



写真:2018年12月15日撮影(場所:田野町総合運動公園)

<火球って…！？>

特に明るい流れ星は”火球(かきゅう)”と呼ばれます。上の写真の右側に明るく光るのが火球です。

そして、大きな火球になると燃えつきずに地上に落ちてくる場合があります。これが「隕石(いんせき)」です。

なお、流れ星の中には、流れた経路に沿って淡い跡を残すことがあります。これを「流星痕(りゅうせいこん)」と呼んだりします。

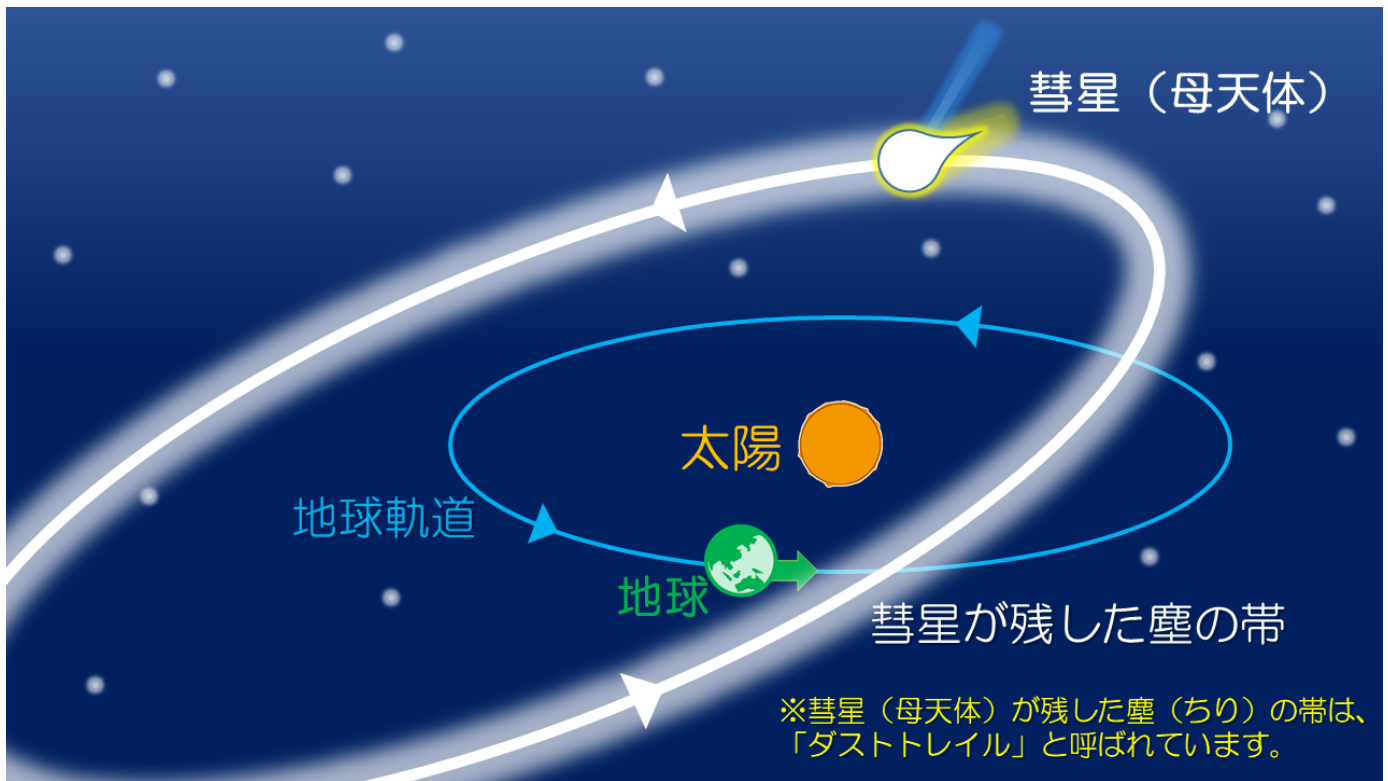
〔流星群解説〕



<流れ星のもと”塵(ちり)”はどこからくるの! ?>

流れ星は宇宙の塵(ちり)だと言いましたが、いったいどこからやってくるのでしょうか?ここでは流星群の塵についてご紹介します。

実は、流星群には塵(ちり)を運んでくる”彗星(すいせい)(別名:ほうき星)”と呼ばれる天体が存在します。下図のように彗星が通った後にはたくさんの塵がばらまかれています。そこに、私たちの暮らす地球が飛び込んでいくと一度にたくさんの塵(ちり)が地球の大気に飛び込んでくるためにたくさんの流れ星、つまり流星群となって見えるというわけです。



<いろいろな流星群>

毎年ほぼ安定して多くの流れ星が出現する3つの流星群「しぶんぎ座流星群(1月)」「ペルセウス座流星群(8月)」「ふたご座流星群(12月)」は、「三大流星群」と呼ばれています。

「流れ星」の仕組みを理解して、実際の空を見てみると、観察がもっと楽しくなりそうじゃの～♪





★★★☆☆ 8月12日の21時から翌13日の夜明け頃まで

時刻→	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6
8月	ペルセウス座流星群														
↓日付															
11日/12日	流星群活動	オススメ！													
	月														
12日/13日	流星群活動	特にオススメ！													
	月														
13日/14日	流星群活動	特にオススメ！													
	月														